

# 第1回

## 愛媛ヤングドクタースキルアップミーティング開催



総合診療科／初期研修医 庄島 蘇音

ケース1「めまい救急診療、キホンのキ」	市立宇和島病院初期研修医2年 森田洋平
ケース2「呼吸困難の鑑別診断」	松山市民病院初期研修医1年 庄島蘇音
ミニレクチャー	愛媛大学医学部総合医学教育センター講師 浅羽宏一先生

平成24年3月17日、約2ヶ月の準備期間を経て、研修医の手作りの鑑別診断の勉強会を開催しました。最初心配していた参加人数も当日は大盛況で、広島や尼崎からも先生方が応援しに来てくださいました。指導医として、愛媛大学医学部附属病院の浅羽宏一先生をはじめ、市立宇和島病院の指導医の先生方も来ていただきました。そしてなにより嬉しかったのは愛媛大学から熱心な学生さんが何人も来てくれたことでした。なお、当院からの参加メンバーは、新谷哲司先生、研修医1年目の横井敬弘先生、西島紀子先生、4月から当院で研修を開始する藤井裕人先生、渡部さやか先生でした。

当院の山本祐司院長の挨拶から始まり、「研修医の間にいろんな交流を深めて、いろいろなことに果敢にチャレンジしてほしい。もっとオープンになって、こういう勉強会を通してお互い切磋琢磨して、将来、愛媛県の医療を担えるような立派

な医師として成長してほしい。」と激励と鼓舞のメッセージをいただきました。

愛媛大学付属病院の浅羽宏一先生のアイスブレーキングのあとに、上記の二つのテーマのもと、みんなで一緒にディスカッションしながら、鑑別診断をしました。勉強会は13時から17時まで、まるまる4時間続き、第1回にしてはちょっとやりすぎたかなと思いつつも、参加者の熱気と真剣さに圧倒されました。



今回は、同期の研修医との交流ができたのみではなく、多くの上級医の先生との交流もできました。各グループが他院の先生と一緒にディスカッションす

ることで、鑑別診断の重要性と臨床的な意義が改めてわかっただけでなく、鑑別診断の際の考え方、診断のテクニックなどたくさん習得できたと思います。明日の診療や救急や当直にとっても役に立つ内容ばかりでした。

今回開催できたのは、主催側の市立宇和島病院の先生方の情熱とご尽力のおかげであり、小生も一緒に企画できたことは光栄であり、とても感謝しております。今回は記念すべき第1回でしたが、これはまだまだ踏み出した小さな一歩に過ぎず、今後このネットワークを活かして、引き続きいろいろな勉強会を開催していきたいと考えております。



### 松山市民病院 院内保育所



平成24年4月2日に開所した職員用院内保育所の名称が『えいらいキッズ』に決まりました。160枚を超える職員公募から選ばれたものです。

準備が本格始動したのは、昨年9月中旬でした。運営委託先は、目と鼻の先に本社があり、かつ地元や関東を中心にたくさんの実績を残している、マミーズファミリーにお願いすることになりました。そこからの約半年間、建設会社を交え

ての二人三脚で、毎週のように話し合いを重ねて出来得る限りの短期間で完成に至りました。

とはいえ、マミーズファミリーと設計士のこだわりが随所に現れております。例えば、コンセントやスイッチ類の高さ、吊り棚の扉金具は地震の際は開かなくなる仕組みのもの、食器は重量感のある砥部焼、中山の木材工房で造られた机や椅子、反りや朽ちに強いウッドデッキなどです。

現在は一時預かり利用と、育休復帰と同時の入所申し込みが増えつつあります。二重保育や、週に2日の24時間保育も設定していますので、勤務スタイルに合わせた利用が可能です。

近い将来、たくさん子どもたちが元気に遊んでくれることを楽しみにしています。

(総務課／浅野光孝)

